

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 6 月 10 日現在

機関番号：13902

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2010年度～2012年度

課題番号：22520560

研究課題名（和文）

クリティカルシンキングを活用した小中連携の英語教育の教員養成カリキュラム開発

研究課題名（英文）

Teacher training curriculum development of the English education of the elementary school and junior high school cooperation which utilized critical thinking

研究代表者 高橋 美由紀 (TAKAHASHI MIYUKI)

愛知教育大学・教育学部・教授

研究者番号：30301617

研究成果の概要（和文）：

本研究では、学習者がクリティカルシンキング、つまり、学習者が自らの思考過程や学びのプロセスに目を向けて学ぶこと（メタ認知能力）を育成することを活用し、大学の「英語科教員養成」科目として、小学校外国語活動を位置づけて、小・中の英語教師を養成するために、学習者の自律的教育実践を行い、児童や生徒一人一人の個性を引き伸ばすことを目指す教育をすることができる教授法を開発することを検討し、そのカリキュラムを構築した。そして、中学校英語教育に円滑に繋げる指導ができる教員を養成するカリキュラムとして研究成果を『新しい小学校英語科教育法』にまとめた。

研究成果の概要（英文）：

The central tenet of this study is the belief that because learners develop meta-cognition and critical thinking skills of their own at their own pace, it is critical that the training of elementary school and junior high teachers includes the development of curriculum, teaching methodologies, and actual educational practices that strive to stretch the autonomous learning capabilities of learners, while at the same time emphasizing the individuality of each learner. This research outlines the development of a teacher-training curriculum for English educators that emphasizes these key features of young learners of English. Moreover, the curriculum that was built connects current Foreign Language Activities for elementary school with junior high school English education.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	2,100,000円	630,000円	2,730,000円
2011年度	500,000円	150,000円	650,000円
2012年度	700,000円	210,000円	910,000円
年度			
年度			
総計	3,300,000円	990,000円	4,290,000円

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学・外国語教育

キーワード：外国語教師養成、ICT、クリティカルシンキング

1. 研究開始当初の背景

2011年から『新学習指導要領』が導入され、「小学校外国語活動」が必修化された。そのため、当初は、現職教員の研修は文部科学省をはじめとして地方自治体等でも積極的に行われていた。しかし、教員養成については、これまで各大学に一任されており、その内容は、担当する教員によって様々であった。また、「外国語活動」は、教科としては導入されていないので、「英語科教授法」での扱い方も大学によって格差が生じている。故に、小学校外国語活動を踏まえた内容で、「英語科教授法」のカリキュラムを開発することが急務であると思われた。具体的には、「小学校外国語活動、小中連携の英語教育」に対するカリキュラム開発である。

2. 研究の目的

本研究の目的は、学習者のクリティカルシンキングを活用した教育実践を行い、小学校外国語活動と中学校英語教育における大学での教員養成のカリキュラム開発を行うことである。「英語科教育法」において、小中の英語教師を養成するために、学習者の自律的教育実践を行い、児童や生徒一人一人の個性を引き伸ばすことを目指す教育をすることができる教授法を開発することである。

小・中高校の英語教育を通して最終的なゴールはコミュニケーション能力であると言われるが、それは単に英語で話しができる能力ではなく、物事を批判的・客観的に解釈し、自分の意見を建設的に述べて、周囲の人々と協調して行動していける能力、いわば対人交渉能力まで含めて考えるべきである。このような目標を達成するために、「英語科教育法」での指導の在り方を検討し、「英語科教育法のカリキュラム」開発を行う必要がある。本研究は、そのような動機によって始められた

研究である。また、英語科教育法におけるクリティカルシンキングの意義について理論的な背景を提示することと、実際の英語授業の実践においてクリティカルシンキングを活用してコミュニケーション能力を養成するためにインターネットを利用したリテラシー能力に焦点を当てた言語活動の方法を開発することもこの研究の目的である。

3. 研究の方法

本研究の目的を達成するために、はじめに、教員養成の指導法、クリティカルシンキングの理論的背景、コミュニケーション能力育成への活用法など授業方法について文献研究によって先行研究を概観した。次に、教員養成の授業研究や、小中学校の授業観察、参与観察、インターネットを利用した授業に対する同様の研究を行った。この事例収集については、クリティカルシンキング養成についてはフィンランドをはじめとするEU諸国の事例なども視野に入れた。併せて、国民の英語能力が比較的高いとされるシンガポールなどのアジア諸国についても適宜事例収集の対象にした。これらの事例をまとめて、日本における教員養成カリキュラムとして、実際に適用できる授業計画を提示し、パイロットスタディを実施した。そして、最終的には、コミュニケーション能力育成にクリティカルシンキング能力を活用するという観点から、どこまでの教育指導が可能であるかについて、検討し、それを提示した。

4. 研究成果

本研究では、教員養成大学における英語教員養成プログラムにおいて、「英語科教育法」での指導の在り方を検討し、学習者のクリティカルシンキングを活用して、「英語科教育法のカリキュラム」開発

を行った。

新学習指導要領において、必修化された小学校外国語活動は、中学校英語教育へと円滑に接続できる指導を行うことが求められている。また、小・中・高校の英語教育を通して最終的な目標はコミュニケーション能力であると言われるが、それは単に英語で話ができる能力ではなく、物事を批判的・客観的に解釈し、自分の意見を建設的に述べる（＝クリティカルシンキング）ことを活用して、周囲の人々と協調して行動していける能力、いわば対人交渉能力まで含めて考えるべきである。

クリティカルシンキングを活用した小・中英語教員の養成について、研究成果としては、(1)教員研修から教員養成で扱うカリキュラム・デザインを行うこと、(2)文部科学省の教材やカリキュラムだけでなく、指導者が指導している児童に適した小学校外国語活動のカリキュラム・デザインを行うこと、(3)小・中連携の英語教育における、教員養成カリキュラム研究等、多岐に渡った。

そして、この研究では、英語教育現場の事例研究を基にしていることから、教育実習や実践を通して、「教員養成の在り方」を研究すると同時に、小学校外国語活動と中学校英語教育における大学での教員養成のカリキュラム開発、学習者の英語コミュニケーション能力を育成することができる教授法とそのカリキュラムを検討し、開発した。

また、この研究は、教員養成カリキュラムだけではなく、小学校外国語活動を小・中・高・大という学校教育全体の枠組みから捉え直すものであり、またあわせて小学校の英語教育の内容や小・中の教育実習の在り方についても次の世代を見越している。更に、現在、小・中連携の英語教育における文字指導の問題が言われているが、クリティカルシンキン

グの視点から、リテラシー教育を考察し、単に文字指導というミクロな側面だけではなく、より大きな視点から小学校英語を考え、実際に小学校、中学校の英語教育の現場で、理論と実践を融合させたカリキュラム開発へと繋げていくことができた。

小学校、中学校の英語教育は教室内での学習にとどまる傾向が強く、言語技能だけに焦点を当てたものになりがちである。そのため、教員養成のためのカリキュラム開発では、「クリティカルシンキングを活用した小・中学校におけるコミュニケーション能力育成」を目的として、言語技能を実際に利用する場面を学習者に提供し、対人交渉能力の育成、また、コミュニケーションの道具としてインターネットの効果的活用を含んだ英語科教育法のカリキュラム開発、更に、小学校外国語活動、中学校英語教育についての効果的な指導法、教材・教具の研究、実践的な活動等、実際に児童・生徒の指導をした教師が、受け身の研修ではなく、自らが研修会の講師を務めたり、実践研究の内容を著したりする取り組みとすることができた。そして、これらの研究成果は、『これからの小学校英語教育の発展』（高橋美由紀（編著）アプリコット出版）、『新しい小学校英語科教育法』（高橋美由紀・柳善和（編著）協同出版）、『小学校の外国語活動授業づくりのポイント』（高橋美由紀・柳善和（編著）ジアース教育新社）、『小学校英語科教科学』（高橋美由紀著、都築繁幸編『教科学を創る』愛知教育大学出版会）に出版の形で発表している。以下はそのカリキュラム「小学校外国語（英語）科教科学の試案のシラバス案である。

表：小学校外国語（英語）科教科学の試案のシラバス案

目的	この授業では、小学校外国語（英語）教員を養成することを目的としている。具体的には、学習指導要領、及び、言語習得理論を踏まえた上で、外国語活動における理念や、実践指導に必要な知識と教育実践のあり方、指導の実際についての教育を展開する。更に、指導者の英語技能を向上させるための指導も行う。	
第1回	小学校英語教育概論	(1) 小学校英語教育の導入の経緯 (2) 学習指導要領の解説 (3) 小学校英語教育における教授法 (4) 言語習得論からみた小学校英語教育
第2回	小学校英語教育の授業の計画と評価	(5) シラバスの構成 (6) 授業の進め方 (7) 指導案の書き方 (8) 学力評価のあり方
第3回	英語教育の教材	(9) 教材のいろいろ「音声教材」 ～チャンツ・歌～
第4回	英語教育の教材	(9) 教材のいろいろ「視覚教材」 ～絵本・カード・テキスト教材～
第5回	英語教育の教材	(9) 教材のいろいろ「視覚教材」 ～ビデオ・電子黒板教材～
第6回	英語教育の教材	(9) 教材のいろいろ ～「ゲーム等で使用する教材」～ワークシート等～
第7回	小学校英語教育の実際	(10) 国際理解教育
第8回	小学校英語教育の実際	(11) ICTを利用した小学校英語教育
第9回	小学校英語教育の実際	(12) ティームティーチング
第10回	言語技能の指導	(13) 音声の指導
第11回	言語技能の指導	(14) 聞くこと、話すことの指導について
第12回	言語技能の指導	(15) 文字指導とリテラシー（読み書き能力）の育成
第13回	言語技能の指導	(16) 語彙の指導
第14回	言語技能の指導	(17) 文法の指導
第15回	小学校と中学校の連携のために	(18) 小学校で英語を教える教員の資質と養成 (19) 英語コミュニケーション能力を向上させるために (20) 小学校と中学校の連携の進め方 (21) これからの小学校英語教育の発展
第16回	試験	

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 19 件）

①高橋美由紀、「小学校英語科教科学」、査

- 読なし、2013、教科学を創る、印刷中
- ②高橋美由紀、Pre-A1 レベルの CAN-DO の特徴と指導はどうあるべきか？、CEFR-J ガイドブック、査読無し、2013、142-148
- ③高橋美由紀、A1 レベルの CAN-DO の特徴と指導はどうあるべきか？、CEFR-J ガイドブック、査読無し、2013、149-155
- ④高橋美由紀・柳善和、日本と韓国の小学生のリスニング能力の比較に関する研究、中部地区英語教育学会紀要、42、2013、191-196
- ⑤高橋美由紀・有働眞理子・谷明信・柳善和、大学院レベルにおける英語内容学と英語教育学の協同による英語科教員養成・教師教育の研究、日本教育大学協会研究年報、査読有、31、2013、269-278
- ⑥高橋美由紀、『Hi, friends!』と中学校教科書を活用した小中英語教育、コミュニケーション能力を育む小中高の英語教育、査読無、2013、1-12
- ⑦高橋美由紀・柳善和・巽徹・吉田晴世・早瀬光秋・泉恵美子、教員養成系大学の連携における共通プログラムによる小学校の指導者養成テキスト教材の開発、日本教育大学協会研究年報、査読有、30、2012、249-259
- ⑧柳善和、新しいデジタル教科書の課題と現状、新学習指導要領に対応した英語教育、査読無、2012、64-70
- ⑨柳善和、電子黒板 Mimio シリーズと電子黒板の現状、英語教育、査読無、60、12、2012、67
- ⑩高橋美由紀、小学校外国語活動と中学校英語教育の円滑な接続について、新学習指導要領に対応した英語教育、査読無、2012、10-22
- ⑪柳善和、電子黒板 Mimio シリーズと電子黒板の現状、英語教育、査読無、60、12、2012、67
- ⑫高橋美由紀、中学校英語教育へ繋げるための外国語活動における語彙指導ーシンガポール日本人学校の英語教育からー、中部地区英語教育学会紀要、査読有、40、2011、183-190
- ⑬高橋美由紀、フィンランドの小学校の英語教育と教員養成について、英語教育実践の記録 近隣小中学校での観察実習、査読無、2011、31-42
- ⑭柳善和、ITC を使った楽しい英語の自主研修、これからの小中英語教育を創る、査読無、2011、83-86
- ⑮高橋美由紀、外国語活動教員養成一質的向上を目的とした大学での理論と教育現場の実践の融合、英語展望、査読無、119、2011、18-25
- ⑯柳善和、電子黒板教材のこれから、英語教育、査読無、60、3、2011、71

- ⑦柳善和、デジタル化した LL 教室、英語教育、査読無、60、7、2011、56
- ⑧高橋美由紀・柳善和、文字指導における小学校外国語活動と中学校英語教育の連携について—CEFRを基にした考え方による—、査読無、44、2010、1-14
- ⑨高橋美由紀・柳善和、担任教師主導の小学校英語教育におけるテストの作成について、査読無、44、2010、15-30

[学会発表] (計 41 件)

- ①高橋美由紀、小学校英語活動の理論と実践、小学校英語コミュニケーション研究事業、2013年2月18日、可児市立南帷子小学校
- ②柳善和、小中高校のデジタル教科書の現状と将来の課題、愛知教育大学小中高英語教育教員研修会、2012年12月23日、愛知教育大学
- ③高橋美由紀、『Hi, friends!』と中学校教科書を活用した小中英語教育-コミュニケーション能力育成のために、愛知教育大学小中高英語教育教員研修会、2012年12月22日、愛知教育大学
- ④高橋美由紀、小中連携の英語教育、第2回岐阜県英語教育実践研修会、2012年12月15日、岐阜聖徳学園大学
- ⑤柳善和、電子黒板を活用した指導法、第2回岐阜県英語教育実践研修会、2012年12月15日、岐阜聖徳学園大学
- ⑥柳善和、新学習指導要領で実現する英語教育、第49回中部地区私学教育研修会、2012年10月4日、ウイング愛知
- ⑦高橋美由紀、小中連携の英語教育、ALT委員会授業研究会、2012年09月28日、上越市立大潟町中学校
- ⑧高橋美由紀、CEFR-J for English Language Teaching in Japan、The JACET 51st (2012) International Convention、2012年9月1日、愛知県立大学
- ⑨高橋美由紀、外国語活動に実際・将来の展望・評価、小中連携外国語活動指導者スキルアップ講座、2012年8月9日コミセンおのコミュニティホール
- ⑩高橋美由紀、日本の英語教育の将来：Can Do ベースの新しい英語能力到達度指標 CEFR-J—開発の経緯と活用のヒント—小学校外国語活動、第38回全国英語教育学会愛知研究大会、2012年8月5日、愛知学院大学
- ⑪高橋美由紀・柳善和、小学校英語学習者の「聞く能力」と「話す能力」の関係について、第38回全国英語教育学会愛知研究大会、2012年8月5日、愛知学院大学
- ⑫高橋美由紀・柳善和、小中連携の英語教育におけるリテラシー教育—『Hi, friends!』と韓国の教科書から、第13回小学校英語教育学会、2012年7月16日、千葉大学
- ⑬柳善和・高橋美由紀、日本と韓国の小学校英語教育における ALT 制度の比較、第13回小学校英語教育学会、2012年7月16日、千葉大学
- ⑭高橋美由紀、『Hi, friends!』を活用した指導法、英語指導力開発ワークショップ2012、2012年7月7日、西南学院大学
- ⑮高橋美由紀・柳善和、日本と韓国の小学生のリスニング能力の比較に関する研究中部地区英語教育学会、岐阜大会、2012年7月1日、じゅうろくプラザ
- ⑯柳善和、小学校外国語活動必修化は、中学校英語教育の"光"となるか?、中部地区英語教育学会岐阜大会、2012年6月30日、じゅうろくプラザ
- ⑰高橋美由紀、『Hi, friends!』の電子黒板を活用したコミュニケーション活動、平成24年筑波大学附属小学校学習公開・研究発表会、2012年6月15日 筑波大学附属小学校
- ⑱高橋美由紀、授業実践講座—外国語活動第20回授業実践フォーラム、2012年6月3日、羽島市文化センター
- ⑲高橋美由紀、小学校における外国語活動の基本理念と言語習得理論、平成24年度小学校外国語活動講座、2012年5月29日愛知県総合教育センター
- ⑳柳善和・高橋美由紀、新学習指導要領における 中学校英語のデジタル教科書の構成と利用方法について、外国語教育メディア学会中部支部第79回支部研究大会、2012年5月26日、名古屋学芸大学
- ㉑高橋美由紀、チームティーチングによるこれからの小学校外国語活動と中学校英語教育、愛知県外国語指導助手指導力等向上研修会、2011年11月8日、愛知県三の丸庁舎
- ㉒高橋美由紀、小学校外国語活動における教員養成カリキュラムを踏まえたテキスト教材の開発—教員養成系大学の連携における共通プログラムを通して—、平成23年度日本教育大学協会研究集会、2011年10月15日、サンポートホール高松
- ㉓柳善和・高橋美由紀、クリティカルシンキングを養成する現職教員研修のあり方について：小中学校教員の英語教育に関する意識調査を基にして、第37回全国英語教育学会山形大会、2011年8月21日、山形大学
- ㉔高橋美由紀、小中連携の英語教育を目標とした小学校外国語活動における評価のあり方、第37回全国英語教育学会山形大会、2011年8月21日、山形大学
- ㉕高橋美由紀、英語科における小中連携—中学校は何をすべきか—、山梨県中学校英語教育研究会、2011年8月1日、三珠中学

校

- ②⑥柳善和・高橋美由紀、小学校教員養成における「英語科教育法」の位置づけについて、第11回小学校英語教育学会(JES)大阪大会、2011年7月18日、大阪教育大学
- ②⑦柳善和・高橋美由紀、小中英語教育の連携における中学校英語教育の取組について：シンガポール日本人学校中学部の実践を基にして、第41回中部地区英語教育学会福井大会、2011年6月26日、福井大学
- ②⑧高橋美由紀・柳善和、小学校英語教育における文字指導とその評価、小学校英語教育効果的な英語教育シンポジウム、2011年2月11日、神田外国語学院
- ②⑨柳善和、ICTを使った楽しい英語の自主研究、愛知教育大学小中英語支援室主催教員研修会、2010年12月26日、愛知教育大学
- ③⑩高橋美由紀、これからの小学校外国語活動の進め方、外国語活動研究会、2010年12月3日、鳥取県大山町立西小学校
- ③⑪高橋美由紀、日本の小学校外国語活動を踏まえた中学校英語教育のあり方、シンガポール日本人学校中学部研修会、2010年11月2日、シンガポール日本人学校中学部
- ③⑫高橋美由紀、外国語活動に適した効果的な音声指導について、MANAVIM.A.P 「対話能力育成のための言語教育」、2010年10月10日、神戸大学百年記念館ホール
- ③⑬柳善和・高橋美由紀、担任教師主導の小学校英語教育におけるテストとCan-do-listの作成について－共通評価基準の構築を目指して、全国英語教育学会、2010年8月8日、関西大学
- ③⑭高橋美由紀、小学校外国語活動必修化に向けて、平成22年度英語教育コーディネーター養成講座、2010年8月6日、枚方市立教育文化センター
- ③⑮柳善和、新しい学習指導要領の中の中学校英語教育の役割、瀬戸市ティーチャーズアカデミー、2010年7月28日、瀬戸市立原山小学校
- ③⑯高橋美由紀、小学校における英語活動の指導方法について（I）、小学校外国語活動研修会、2010年7月27日、岡崎市研修センター
- ③⑰高橋美由紀・柳善和、中学校英語教育へ連携させるための小学校外国語活動の文字指導と評価の実際－CEFRを活用して、小学校英語教育学会、2010年7月19日、北海道工業大学
- ③⑱柳善和・高橋美由紀、文字指導における小中英語教育の連携について：CEFRを基にした考え方、小学校英語教育学会、2010年7月19日、北海道工業大学
- ③⑲高橋美由紀、コミュニケーション能力の素地を育成するための効果的な指導法、平成

22年度第1回小学校外国語活動研修会、2010年7月16日、北海道とちちプラザ 大集会室

- ④⑩高橋美由紀、望ましい評価と活動例－新学習指導要領に基づいて－、日本児童英語教育学会 中国四国支部、2010年7月4日、ひろしま国際センター
- ④⑪高橋美由紀、外国語活動完全実施に向けての取り組み－何をどう準備しておくか－、福山市立引野小学校研修会、2010年6月25日、福山市立引野小学校

〔図書〕(計10件)

- ①都築繁幸(編)高橋美由紀他、愛知教育大学出版会、教科学を創る、2013、印刷中
- ②高橋美由紀・柳善和(編著)、ジアース教育新社、小学校の外国語活動授業づくりのポイント、2013、印刷中
- ③投野由紀夫(編)、高橋美由紀他(著)、大修館書店、英語到達度指標 CEFR-J ガイドブック、2013、313
- ④愛知教育大学外国語教育講座 高橋美由紀(代表)他、中部日本教育文化会、コミュニケーション能力を育む小中高の英語教育、2013、255
- ⑤愛知教育大学外国語教育講座 高橋美由紀(代表)他、中部日本教育文化会、新学習指導要領に対応した英語教育－小中のかけはしとなる理論と実践－、2012、212
- ⑥高橋美由紀・柳善和(編著)、協同出版、新しい小学校英語科教育法、2011、270
- ⑦高橋美由紀他、中部日本教育文化会、これからの小中英語教育を創る、2011、188
- ⑧高橋美由紀(編著)、柳善和他、アプリコット出版、これからの小学校英語教育の発展、2011、193
- ⑨小塚良孝・藤原康弘・高橋美由紀他、中部日本教育文化会、教員養成における英語教育のこれから－小学校外国語活動を見据える、2011、156
- ⑩加藤明(編)・高橋美由紀他、教育開発研究所、通知表記入文例集、2011、194

6. 研究組織

(1) 研究代表者

高橋 美由紀 (TAKAHASHI MIYUKI)
愛知教育大学・教育学部・教授
研究者番号：30301617

(2) 研究分担者

柳 善和 (YANAGI YOSHIKAZU)
名古屋学院大学・外国語学部・教授
研究者番号：40220181